

保険料控除申告書の記入方法について

下記の「保険料控除申告書」の記入手順 ①～⑥ に従って申告書にご記入ください。

記入例

保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人の氏名	新・旧区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた保険金等の控除後の金額)	給付金の受取人の氏名
① 楽天生命	長期通減定期保険	90歳	楽天花子	楽天一郎 夫	新	116,800	
楽天生命	医療保険	終身	楽天花子	楽天花子 本人	新	22,800	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	116,800	① (最高40,000円)		40,000	
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	22,800	② (最高50,000円)		22,800	
(a)の金額の合計額		C	54,404	計(①+②) ③ (最高40,000円)		40,000	
(a)の金額の合計額		D		④ (最高40,000円)		33,601	
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E		⑤ (最高50,000円)			
計算式Ⅰ(新保険料等専用)※		計算式Ⅱ(旧保険料等専用)※		生命保険料控除額計(③+④+⑤) (最高120,000円)		73,601	

(注) 楽天生命では「個人年金保険」のお取扱いはありません。他社で個人年金保険のご契約がある場合、こちらにもご記入ください。

A 一般用 新制度

XXXX年生命保険料控除証明書(一般用)

ご契約者 楽天花子様

証券番号 162-###037-1	保険種類 長期通減定期保険
契約日 2018年9月1日	払込方法 月払
保険期間 90歳	保険金・給付金受取人 楽天一郎様

XXXX年XX月分までのお振込額を下記のとおり証明いたします。

控除の分類	適用制度	保険料	配当金(相当額)	申告額
一般生命保険料	新制度	87,750円	0円	87,750円

【年間払込予定保険料額】
XXXX年XX月分までお支払い予定の場合は下記金額をご申告ください。

控除の分類	適用制度	保険料	配当金(相当額)	申告額
一般生命保険料	新制度	117,000円	200円	116,800円

証明日 XXXX年XX月XX日 楽天生命保険株式会社

B 一般用 旧制度

XXXX年生命保険料控除証明書(一般用)

ご契約者 楽天花子様

証券番号 080-###816-1	保険種類 医療保険
契約日 2008年11月1日	払込方法 月払
保険期間 終身	保険金・給付金受取人 楽天花子様

XXXX年XX月分までのお振込額を下記のとおり証明いたします。

控除の分類	適用制度	保険料	配当金(相当額)	申告額
一般生命保険料	旧制度	17,100円	0円	17,100円

【年間払込予定保険料額】
XXXX年XX月分までお支払い予定の場合は下記金額をご申告ください。

控除の分類	適用制度	保険料	配当金(相当額)	申告額
一般生命保険料	旧制度	22,800円	0円	22,800円

証明日 XXXX年XX月XX日 楽天生命保険株式会社

C 介護医療用

XXXX年生命保険料控除証明書(介護医療用)

ご契約者 楽天花子様

証券番号 080-###697-1	保険種類 医療保険
契約日 2018年7月1日	払込方法 月払
保険期間 終身	保険金・給付金受取人 楽天花子様

XXXX年XX月分までのお振込額を下記のとおり証明いたします。

控除の分類	適用制度	保険料	配当金(相当額)	申告額
介護医療保険料	新制度	40,878円	100円	40,778円

【年間払込予定保険料額】
XXXX年XX月分までお支払い予定の場合は下記金額をご申告ください。

控除の分類	適用制度	保険料	配当金(相当額)	申告額
介護医療保険料	新制度	54,504円	100円	54,404円

証明日 XXXX年XX月XX日 楽天生命保険株式会社

※勤務先によっては保険料申告書のレイアウトや項目が異なる場合があります。

「保険料控除申告書」の記入手順

①～⑤は、一般の生命保険料 介護医療保険料 ごとに同じ手順を繰り返す → ⑥を行う

一般の生命保険料 介護医療保険料 の分類ごと、「旧制度」「新制度」ごとに転記する

<下記は 一般の生命保険料 の欄番号を例として記載しています>

- 1 契約の基本情報を記入**
「保険会社」「保険種類」「保険期間」「ご契約者氏名」「受取人氏名」を転記し、「受取人続柄」を記入
※「保険金等の受取人」について、保険金・給付金受取人欄に「*****」が記載されている場合は、お手持ちの「ご契約内容のお知らせ」「保険証券」または契約者様専用サイト(マイページ)等でご確認ください。
- 2 「新旧区分」を選択し、その年にお支払い予定の保険料(申告額)を転記**
● 一般生命保険料(一般用)は 一般の生命保険料 欄へ、
● 介護医療保険料(介護医療用)は 介護医療保険料 欄へ、それぞれ転記
※「適用制度」欄が「新制度」の場合は「新」に○、「旧制度」の場合は「旧」に○。「介護医療保険料」は「新制度」のみのため、「区分」の選択は不要
- 3 その年にお支払い予定の保険料を「新旧区分」ごとに合計し、記入**
● 「新制度」の金額を合計し、A欄へ記入
● 「旧制度」の金額を合計し、B欄へ記入
- 4 保険料控除額を計算式を用いて計算し、記入**
● A欄の金額を「計算式Ⅰ(新保険料専用)」にあてはめて計算し、①欄へ記入(最高40,000円)
● B欄の金額を「計算式Ⅱ(旧保険料専用)」にあてはめて計算し、②欄へ記入(最高50,000円)
- 5 最終的な保険料控除額を記入**
● ①欄と②欄の合計を③欄へ記入(最高40,000円)
● ②欄と③欄のいずれか大きい方の金額を④欄へ記入
- 6 各分類ごとの控除額を合計して記入**
● ①②③の金額を合計して記入(最高120,000円)